



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(7月3日時点)

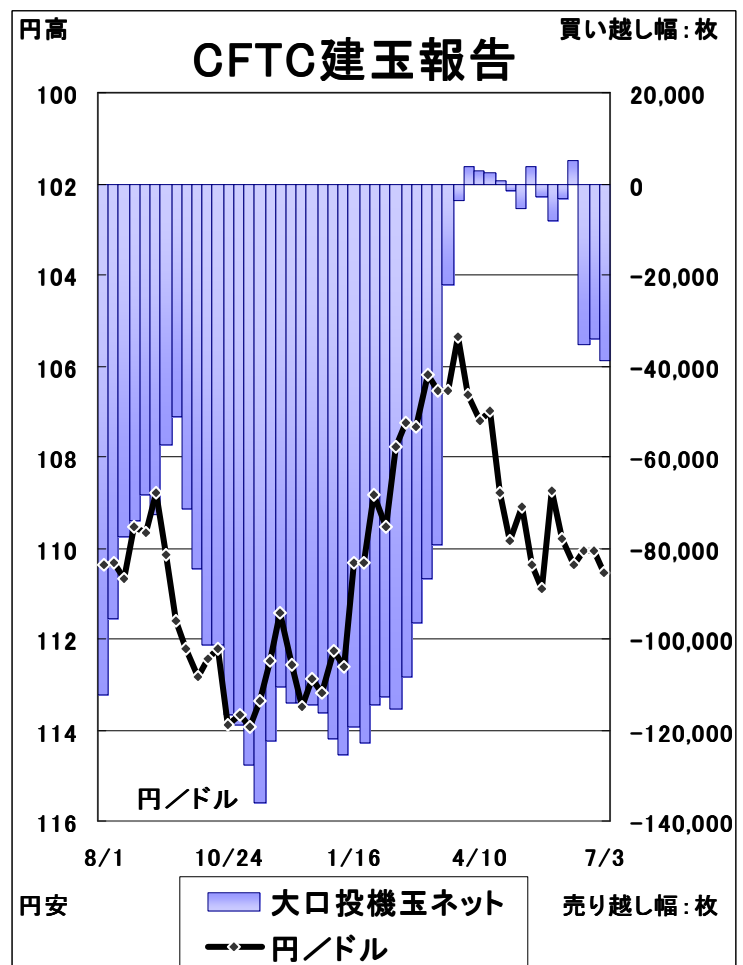
米商品先物取引委員会(CFTC)が9日に発表した建玉報告によると、3日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は3万8730枚となり、前週と比べ4509枚拡大。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、売りポジションを多く増やしていた。

期間中の円(対ドル)は軟調。米商務省が6月29日に発表した5月の個人消費支出(PCE)物価指数は前年同月比2.3%上昇。伸び率は6年2カ月ぶりの大きさとなった。コアPCE指数も同2.0%上昇と、6年1カ月ぶりに米連邦準備制度理事会(FRB)が物価安定の物価目標の2%台に達したことや、米FRBの追加利上げ観測を背景とした米長期金利の上昇を背景とした日米金利差の拡大観測を受け、円売りドル買いが進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機玉の買越幅は3万6747枚となり、前週比2843枚拡大。

欧州連合(EU)は29日未明、ブリュッセルで開いた首脳会議で、移民・難民対応で合意。加盟国が自主的に難民を受け入れ、負担を分担する。会議ではイタリアが一時、難民受け入れルールの抜本的見直しを先送りする内容の声明案への同意を拒否し、議論が紛糾した。ただ、詳細の検討はこれからとみられ、自主的対応の実効性は不透明だが、一先ずの合意に達したことが好感され、ユーロ買いドル安が進行。しかし、その後は、米FRBによる米国の金利引き上げ観測を背景としたドル買いが継続したことで、ユーロの上げ幅は限られた。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
05/29	108.75	-8,036	1.1535	93,037
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
06/12	110.38	5,052	1.1744	88,225
06/19	110.08	-35,562	1.1588	36,118
06/26	110.07	-34,221	1.1646	33,904
07/03	110.57	-38,730	1.1658	36,747
前週比	0.50	-4,509	+0.0012	+2,843



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。